

## 別府大学大学院研究科の理念と教育目標

別府大学大学院学則第2条及び第2条の2項をふまえ、研究科の理念及び教育目標を次のように定める。

### 文学研究科

伝統的人文学領域の創造的継承と新しい学問領域の構築をめざすとともに、時代の要請に応え、地域の知識基盤社会を支える豊かな学識と実践能力を備えた有為な人材を育成する。

#### 博士前期課程及び修士課程

##### 歴史学専攻

日本史、東洋史、西洋史の3領域の伝統的な学問領域を尊重しつつ、日本史領域ではとりわけ史料の読解に基づく地域社会の歴史像の構築、及びアーカイブズ教育研究、また東洋史・西洋史領域では世界史的視野に立った歴史像を構築する。本課程では中学校・高等学校の教育職や博物館・文書館などの専門職、出版・報道関係の職を目指す有為な人材を育成する。

##### 日本語・日本文学専攻

伝統ある歴史をもつ国文学科の実績を基に、古代から現代に至る日本語・日本文学の教育研究を推進する。本課程では中学校・高等学校や日本語教育の教育職、出版関係の職などをめざす有為な人材を育成する。また、外国人留学生の教育を重視し、日本語・日本文学の豊かな学識を培い、国際的に活躍できる人材を育成する。

##### 文化財学専攻

伝統的な世界とそこで形成されたモノから学び、その文化を未来に伝える教育を行う。とりわけ、ヒトと環境の共生という世界遺産理念にも通じる新しい文化財学理念に基づく地域社会に密着した高度な知識と実践能力を備えた有為な人材の育成をめざす。研究領域は考古学、環境歴史・民俗学、分析科学・修復学、美術史・美術工芸学の4分野に分かれ、博物館や美術館などの専門学芸員の養成を主眼とする。

##### 臨床心理学専攻

「こころの専門家」として地域社会に貢献できる高度専門職業人の育成をめざす。本専攻は、修士課程のみで構成され、臨床心理学をめぐる特論、査定、演習、実習などの教育プログラムが用意されている。地域社会のさまざまな場で発生する「こころの問題」にたずさわる臨床心理士及びカウンセラーを養成する。

#### 博士後期課程

後期課程は、歴史学専攻、日本語・日本文学専攻、文化財学専攻からなり、博士論文の作成を通じて、研究者として自立して活動できる高度な研究能力と豊かな学識を養い、教育職や博物館・美術館などの専門職を目指す有為な人材を育成する。

## 食物栄養科学研究科

21世紀における人類の健康的な生活を支援するため、目覚ましい発展を遂げている生命科学の最新の知識に基づいた、生命、健康、食の科学の基礎と応用を総合化した教育と研究を行う。

### 食物栄養学専攻

食物学の分野の基礎となる専門的な研究領域である「食品栄養科学領域」、栄養学の分野の基礎となる専門的な研究領域である「基礎栄養科学領域」、公衆栄養や臨床栄養等の専門的研究領域である「実践栄養科学領域」の3領域を柱として、「食物と栄養」に関連した高度な諸科学の理論と応用を深く理解する。

また、「発酵食品化学領域」では食品製造や食品微生物及びバイオテクノロジーを含む高度な幅広い知識と技術が得られる。